

令和5年度《国語》1年 シラバス

科目		単位数	指導学年	使用教科書			
現代の国語		2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『現代の国語』			
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
学期	月	単元名	教材名	時間	学習の目標	評価規準	評価方法
1	4	伝え合う	白紙	5	<ul style="list-style-type: none"> 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】 【主体的態度】 ・言葉やコミュニケーションに対して興味をもち、「現代の国語」の学習に意欲をもっている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	4	的確に伝える	わかりやすく書く	4	<ul style="list-style-type: none"> 相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。 	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 【主体的態度】 ・相手に正確に伝わるように、わかりやすく書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	5	意見文を書く	意見を書く	3	<ul style="list-style-type: none"> 構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。 	【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。【B(1)イ】 【主体的態度】 ・文章の構成や論理の展開を意識し、根拠を明確にして意見を書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	6	魅力的に伝える	工夫して話す	2	<ul style="list-style-type: none"> 相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 	【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】 【主体的態度】 ・聞き手を意識し、構成や展開、表現のしかたを工夫して話そうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	7	文章の要点をつかむ	水の東西	7	<ul style="list-style-type: none"> 叙述を的確にとらえる。 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 	【知・技】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。【(1)カ】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的態度】 ・具体と抽象や対比の関係をとりえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	9	文章の論理を捉える	動的平衡としての生物多様性	7	<ul style="list-style-type: none"> 主張と根拠、理由づけの関係をとりえる。 演繹、帰納に着目して、文章の論理をとりえる。 	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 ・推論のしかたを理解し使っている。【(2)ウ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的態度】 ・論理的文章を読むことに興味をもち、論理関係を意識して読もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	10	資料を駆使する	「安くておいしい国」の限界	8	<ul style="list-style-type: none"> 資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 	【知・技】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。【(2)エ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【C(1)イ】 【主体的態度】 ・資料と文章の関係を読み取ることに興味をもち、的確な情報を読み取るようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2	11	他者と交流する	他者を理解すること	5	<ul style="list-style-type: none"> 質問の目的を明確にする。 目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。 	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。【A(1)エ】 【主体的態度】 ・目的に沿った質問をする学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	11	9 情報を比較する	「美しさの発見」について (脳は美をどうとらえるか)／空気を読む／「個人」から「分人」へ	6	<ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を比較し、共通点や相違点をとりえる。 	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【C(1)イ】 【主体的態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとりえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学期	月	単元名	教材名	時間	学習の目標	評価規準	評価方法
3	12	資料を用いて発表する	どう伝えるか	4	・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。【A(1)ア】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】 【主体的態度】 ・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、聞き手の心を動かす話し方を工夫しながら発表しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	1	主張を吟味する	贅沢を取り戻す	8	・他者の主張をふまえて、自分の考えを書く。	【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 ・引用のしかたや出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。【(2)オ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【B(1)イ】 【主体的態度】 ・他者の主張を正しくとらえながら、説得力のある意見文を書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	2	考えを発信する	問いを立てる	4	・異なる意見を持つ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。【A(1)オ】 【主体的態度】 ・結論の出し方を工夫して話し合いに参加しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	3	レポートを書く	レポートを書く	7	・適切な情報を集め、問いを立てる。 ・調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。	【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 ・推論のしかたを理解し使っている。【(2)ウ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【B(1)イ】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。【B(1)エ】 【主体的態度】 ・積極的に情報を集め、レポートを書く活動に意欲的に取り組んでいる。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

計 70

令和5年度《国語》1年 シラバス

科目		単位数		使用教科書				
言語文化		2単位(70時間)		大修館書店『言語文化』				
科目の目標		<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
学期	月	単元名	教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準	評価方法
1		4	古文に親しむ	6	【知・技】 (1)エ (2)イ・ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・物語の展開をとらえる。 ・話のおもしろさを味わう。	【知・技】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。【知(1)エ】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【知(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【知(2)ウ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的態度】 ・古文の学習に興味をもち、物語の展開や話のおもしろさを理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	小説に親しむ	8	【知・技】 (1)イ (2)カ 【思・判・表】 B(1)ア	・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。	【知・技】 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【知(1)イ】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。【知(2)カ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている。【B(1)ア】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、場面ごとの人物の心情の変化を読み取るようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	漢文に親しむ	4	【知・技】 (1)ウ (2)ア・イ 【思・判・表】 B(1)ア・オ	・登場人物の関係を整理し、話の展開をとらえる。 ・この話から生まれた言葉について理解を深める。	【知・技】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【知(2)イ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の関係や話の展開をとらえようとしている。 ・故事成語の由来に興味をもっている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	詩を創作する	2	【知・技】 (1)ア (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ・エ	・作品の背景をふまえて、内容を理解する。	【知・技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。【知(1)ア】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【知(2)ア】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。【B(1)エ】 【主体的態度】 ・詩に興味をもち、作品の背景をふまえて内容を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7	古文の世界を味わう	10	【知・技】 (1)ウ (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・オ	・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。	【知・技】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【知(2)ウ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や登場人物の関係、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		9	漢詩の世界を味わう	4	【知・技】 (1)ウ (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・自然をうたった漢詩を読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・漢詩の表現の特徴を理解する。	【知・技】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【知(2)ウ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的態度】 ・自然をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		9	漢詩の世界を味わう	4	【知・技】 (1)ウ (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)イ	・人生をうたった詩を読み味わい、表現の工夫をとらえる。 ・それぞれの詩がうたわれた時代背景を知り、理解を深める。	【知・技】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【知(2)ウ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的態度】 ・人生をうたった漢詩に興味をもち、表現の特徴を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学期	月	単元名	教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準	評価方法
2	9	文化の交流を知る	枕草子 九月ばかり／雪のいと高う降りたるを 参考 枕草子 春はあけぼの／方丈記 日野山の閑居	4	【知・技】 (2)イ・ウ 【思・判・表】 A(1)ア B(1)イ・オ	・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。 ・作者の人物像をとらえる。	【知・技】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【知(2)イ】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。【A(1)ア】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、自然の情景に対する作者の感覚や、作者の人物像をとらえようとしている。H35	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			橋のたもとの老人	6	【知・技】 (1)ア (2)ア 【思・判・表】 B(1)エ	・「私」と「老人」の描写を比較し読み取る。 ・翻訳の表現について理解を深める。	【知・技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。【知(1)ア】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容を解釈を深めている。【B(1)エ】 【主体的態度】 ・翻訳作品に興味をもち、人物描写を比較しながら読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			短歌 十二首 俳句 十五句	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ B(1)イ	・短歌に親しみ、表現の特徴を理解する。 ・作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。 ・俳句の表現の特徴を理解する。 ・作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。	【知・技】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。【A(1)イ】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的態度】 ・短歌・俳句に興味をもち、作品にうたわれている情景や心情を読み味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			中古の人々の思いを理解する	10	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア・エ	・旅にでるまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。	【知・技】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【知(2)イ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容を解釈を深めている。【B(1)エ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、日記という形態や書き手の設定に着目しながら読もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			中国の思想を理解する	7	【知・技】 (1)ア・ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)オ	・「千里の馬」と「伯楽」の関係を中心に、論理の展開を読み取る。 ・作者がこの話をとおして主張していることをとらえる。	【知・技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。【知(1)ア】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知(1)ウ】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、論理の展開や作者の主張を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3	2	表現の多様性を知る	青が消える	6	【知・技】 (1)ア (2)カ 【思・判・表】 B(1)イ・オ	・作品が暗示しているものについて理解を深める。	【知・技】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。【知(2)ア】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。【知(2)カ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】 【主体的態度】 ・作品に興味をもち、作品が暗示しているものについて理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				70				

令和5年度 2年《国語》「古典探究」シラバス

1、科目・単位・履修学年・区分 古典探究・2単位・2年・必修

2、使用教科書・副教材 ① 高等学校 精選古典探究(第一学習社) ② 新版版 最新国語便覧(浜島書店)
③ 三訂版 わかる・読める・解ける古文単語330(いいずな)

3、教科目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	古典探究	単位	4	学年	2～3
使用教科書	高等学校 精選古典探究(第一学習社)			副教材等	精選古典探究 学習課題集(第一学習社)

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
3	古今著聞集	<ul style="list-style-type: none"> ・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	徒然草	<ul style="list-style-type: none"> ・争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方、考え方に対して理解を深めようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	方丈記	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 無常観の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨長明『方丈記』の表現について分析したうえで、無常観という観点で兼好法師『徒然草』と比較をする。 ・中世随筆という文章の種類をふまえて、古典特有の無常観に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・積極的に『方丈記』の表現の特色を分析しようとしている。 ・今までの学習を生かして、『方丈記』と『徒然草』を読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
3	伊勢物語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

種数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
6	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	蜻蛉日記	<ul style="list-style-type: none"> ・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・学習の見通しをもって『蜻蛉日記』を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 平安朝の結婚	<ul style="list-style-type: none"> ・『蜻蛉日記』に記される作者の悩みや不満が、当時の結婚形態とどのように関係するかについて調査し、その成果をまとめたり発表したりすることにより、内容の解釈を深める。 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、平安時代の結婚形態や『蜻蛉日記』の記述などを進んで調べようとしている。 ・集めた資料の内容を解釈し、『蜻蛉日記』から読み取ったことをもとに自分の考えを深め、それを積極的にまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
5	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混交文の特色について理解を深めようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	春夏秋冬	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の伝統をふまえて成立した近世の俳諧の特色を理解し、時代を追って作品を鑑賞する。 ・俳諧という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・俳諧の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・俳諧の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって俳諧の特徴を捉えようとしている。 ・今までの学習を生かし、俳諧の特色を理解し、俳諧を積極的に鑑賞しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 切れ字を作って俳句を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・「切れ字」に焦点を置き、俳句を創作する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・進んで切れ字の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って切れ字を用いて俳句を創作しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 俳句の提出 リフレクションシート
4	推敲 呉越同舟 嬰逆鱗 知音	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 友情に関する故事	<ul style="list-style-type: none"> ・友情に関する故事成語の由来や意味を調べ、その成果をまとめたり発表したりすることを通して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・漢文が日本語に与えた影響について考えることにより、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 リフレクションシート
2	鼓腹撃壤	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治のあり方について理解を深める。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想的政治のあり方を捉えようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	背水之陣	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・積極的に史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。			○	リフレクションシート ポートフォリオ
3	雑説	・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 ・論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	売油翁	・技術の習熟について述べた文章を、引用された話を参考にして読み、ものの見方や考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・随筆を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・作者が主張している内容を、引用された話をふまえながら進んで説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	鴻門之会	・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	中国の詩	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	日本の詩	・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、作者が漢詩に託した自然や人事に対する思いを通して考えを深める。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・漢詩を鑑賞し、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・日本人がよんだ漢詩を鑑賞し、作品にこめられた自然や人事に対する思いを進んで読み取ろうとしている。 ・中国の文化が我が国の文化に与えた影響について積極的に理解しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	酒虫	・人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考え方に触れ、劉氏にとっての酒虫の意味について考える。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読んで、番僧が酒虫を退治した方法を整理するとともに、番僧に会う前後の劉氏の考え方の変化を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	孟子	・『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・思想を述べた文章の特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 名句・名言について調べる	・『論語』を出典とする名句・名言について、意味や使用場面を調査し、その結果を発表する。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・『論語』を出典とする名句が現代の日本語にもたらした影響について理解を深める。 ・名句・名言の意味と使用場面を進んで調べ、その結果をわかりやすく発表しようとしている。	○ ○ ○	○ ○		授業態度 発表・報告 リフレクションシート

1、科目・単位・履修学年・区分 文学読解・1単位・2年・必修

2、使用教科書・副教材 ①文学国語（東京書籍） ②新版版 最新国語便覧（浜島書店）

③ 大学入試現代文単語 Vocabulary550（いいずな）

3、教科目標 近代以降の文学作品を読むことによって、言語文化に対する理解を深め、読書に親しみ、豊かで充実した言語生活を送ることができる資質能力を身に付けさせる。

(1) 知識・技能に関すること：文学作品を読むために必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。

(2) 思考力・判断力・表現力に関すること：小説において、場面の展開、登場人物の行動と心理を理解する方法や、表現の味わい方を学び、読解力を高めさせる。また、読み取ったことを伝え合うことによって、理解を深めさせる。

(3) 学びに向かう力・人間性に関すること：文学作品を深く読み味わう楽しみを知り、読書に親しむ態度を養う。

領域・教材名 配当時数	学習指導要領との 対応	学習目標	言語活動	評価規準
読む 光の窓 3時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア, イ [思判表] 読むこと(1)ア, カ	・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。	自分の好きな絵を選び、その絵の魅力を、自分自身の感覚と関連づけながら、発表する。	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [主] 粘り強く言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめ、発表しようとしている。
読む 沖縄の手記から 4時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア [思判表] 読むこと(1)ア, カ	・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。	感想を交換し、主題について全体で話し合い、更に必要に応じて、発展的な読書、調査などによって、考えを深める。	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [主] 粘り強く時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。
読む 詩と感情生活 3時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア [思判表] 読むこと(1)ア, カ	・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。	詩の特質について、自分の考えをまとめる。	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [主] 進んで詩についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って詩の特質について考えを深めようとしている。
読む 雨月物語 3時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア [思判表] 読むこと(1)ア, カ	・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。	『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、「物語」についての自分の考えをまとめ発表する。	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [主] 進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめようとしている。
読む 山月記 7時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア, イ [思判表] 読むこと(1)ア, イ	・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	・李徴が虎になった理由についてどう分析しているかについて発表する。 ・李徴の生き方について話し合う。	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 [思判表] ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 [主] 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。
読む 山椒魚 3時間	[知技] (1)ア, イ (2)ア, イ [思判表] 読むこと(1)ア, エ	・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。	・この作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら、六百	[知技] ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。

	<p>【知技】(1)エ 【思判表】読むこと(1)オ</p>		<p>字程度の文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が削除した部分がある場合とない場合では、どちらが今の自分にとって納得がいく作品になるか、理由とともにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 <p>【主】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。</p>
<p>読む 永訣の朝 2時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ(2)ア, イ 【思判表】読むこと(1)ア, イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妹の死を扱った他の作品と読み比べたり、妹の死を境として、その体験以前と以後の作品を読み比べたりする。 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 <p>【主】 粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとしている。</p>
<p>読む こころ 7時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ(2)ア, イ 【思判表】読むこと(1)ア, エ 【知技】(1)エ 【思判表】読むこと(1)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所・時などの変化に注意して事の経緯をまとめ、「私」とKの性格や生き方の違いについて考えて、全体を振り返る。 ・例えば、「二人はそれぞれ話を…感じだしたくらいです。」(P132・下2～下11)の部分の描写から読み取れることについて話し合う。 ・この小説の主題(例えば、エゴイズムなど)について、考えたことを話し合う。 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 <p>【主】 粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。</p>
<p>読む 鞆 3時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ(2)ア, イ 【思判表】読むこと(1)ア, エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この小説を紹介するという設定で、ポップや本の帯、図書館便りなどに載せる文章を書く。 ・グループで内容紹介文を読み合い、意見交換をする。 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 <p>【主】 粘り強く寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内容紹介文を書こうとしている。</p>

令和5年度 2年《国語》「論理国語」シラバス

1、科目・単位・履修学年・区分 論理国語・1単位・2年・必修

2、使用教科書・副教材 ① 精選論理国語(数研出版) ② 新版版 最新国語便覧(浜島書店) ③ 大学入試現代文単語Vocabulary550(いづな)

3、教科目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3)言葉のもつ仮への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

単元名/題材名	配当時数		学習内容	評価規準			言語活動	評価方法
	A 書くこと	B 読むこと		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
具体と抽象/手の変幻		3	・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。	知識・技能 「言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア]思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。[B(1)エ]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	筆者の考えに対する自分の意見を、根拠とともに文章にまとめる。	記述の確認	
普遍的な言葉/国境を越える言葉		2	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。	知識・技能 「言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア]思考・判断・表現 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。[B(1)キ]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考え紹介する。	行動の確認	
近代と現代の視点/未来世代への責任		3	・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ・「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。	知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア]思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B(1)カ]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	論理的な文章を読み、筆者の考えを踏まえて自分の意見を書く。	記述の確認	
情報と社会/消費されるスポーツ		4	・「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえる。 ・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解する。 ・文章内容をWEB記事の内容と関連づけて考察する。	知識・技能 推論の仕方について理解を深め使っている。[(2)ウ]思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[B(1)ア]/「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。[B(1)イ]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	論理的な文章を読み、筆者の考えをふまえて話し合う。	行動の確認	
思考の枠組み/偶然とは何か		4	・人間の「必然」と「偶然」についての歴史的などえかたについて読みとる。 ・「偶然」の持つ価値について考えを深める。	知識・技能 「言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア]思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B(1)カ]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	論理的な文章を読んで、筆者の考えを参考にして話し合う。	行動の確認	
思考の枠組み/「である」と「する」こと		4	・各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えをとらえる。 ・文章内容を新聞の投稿文の内容と関連づけて考察する。	知識・技能 推論の仕方について理解を深め使っている。[(2)ウ]思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。[B(1)ア]	主体的に学習に取り組む態度 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	論理的な文章を読み、筆者の考えをふまえて自分の意見を発表する。	行動の確認	
考えの表出/「手」の言葉		5	筆者の「『手』の言葉」に関する意見を理解したうえで、具体的な作品を選び、その特徴などを筆者の意見と関連づけながら解説する。	知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ]思考・判断・表現 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。[A(1)ア]	主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	論理的な文章を読んで適切な具体例を示し、その内容について解説する。	記述の分析	
考えの表出/「安楽」への全体主義		5	・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。	知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。[(1)エ]思考・判断・表現 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する[A(1)ウ]	主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	現代社会の状況を分析し、文章構成を工夫して自分の意見を述べる。	記述の分析	
考えの表出/「いき」の美学		5	筆者が述べる「二重構造」「いき」の内容を理解したうえで、現代の日本人の美意識について自分の考えを論じる。	知識・技能 「言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア]思考・判断・表現 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。[A(1)エ]	主体的に学習に取り組む態度 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	論理的な文章を読み、その内容を参考にしながら自分の意見を論じる。	記述の分析	

令和5年度 3年「現代文B」シラバス《国語》

1. 科目・単位・履修学年・区分
現代文・3単位・3年・必修
2. 使用教科書・副教材
① 精選現代文B 新訂版（大修館） ② 新版六訂 カラー版 新国語便覧（第一学習）
③ 大学入試現代文単語 Vocabulary550（いいずな）
3. 教科目標
国語を的確に理解し適切に表現する力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
4. 授業方法・形態
一斉授業、講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。
5. 評価方法・形態
定期考査（中間考査・期末考査・2学期実力考査）、臨時テスト、授業態度（音読・発表・発問回答）、課題提出物等を総合的に判断して行う。
6. 評価の観点・評価規準
A 話すこと 自分の考えをまとめたり深めたりし、目的や場面に応じて、筋道を立てて話し、聞き取る。
B 書くこと 自分の考えをまとめたり深めたりし、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。
C 読むこと 自分の考えを深め発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとる。

7. 授業計画

月	単元名	教材	領域			主な学習の目標 (評価規準)	学評価の観点					評価方法等	進度
			A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
4	1 評論 (一) 倫理と 心理	・こころは見える？			2	・発想の転換から導かれる論理展開を正確に理解する。 ・筆者の問題意識に対して自分自身に引きつけ、考えを深める。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・「贈り物」としての ノブレス・オブリージュ	2	1	5	・「ノブレス・オブリージュ」という言葉の本来の意味と、筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題としてとらえ直し、自己を見直す。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・思考と表現6 文字に宿る「こころ」	1			・伝えたいことを効果的に表現するために、文字の大きさや書体など、視覚的な工夫の仕方を考える。	○		○	○	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	

5	2 小説 (一) 虚構と 象徴	・赤い繭	1	1	4	・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、反リアリズム小説の面白さを味わう。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・美神			2	・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。 ・物語の展開を理解し、小説のおもしろさを味わう。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査
6	3 評論 (二) 文化と美	・実体の美と状況の美			3	・「実体の美」と「状況の美」のそれぞれの特徴をたどりながら、日本人の美意識について考える。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・心に「海」を持って	2	1	4	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、国際社会と日本とのかかわり方について考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
7	4 随想 思いを 伝える	・昔の光			3	・筆者の感性に感応しながら、その発想や表現の特色を理解しつつ、格調高い文章をしっかりと読む姿勢を身につける。 ・随想の魅力を味わいながら、読み取ったことを参考に自分の考えを深める。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・浄瑠璃寺の春		1	3	・時間や場所の変化にともなう「僕」の心の動きを捉え、文学的随想の世界を味わう。 ・文体の特徴や文学的随想らしい作品構成上の配慮に気づき、自ら表現する際の参考とする。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
9	5 評論 (三) 社会を 担う	・政治を支える心構え	2	1	4	・文章の構成や展開を的確に捉え、政治を支える心構えについて考えながら、将来の社会を担う人間としての自覚をもつ。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
		・「である」と「する」と			4	・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。 ・特に、日本の「近代」のあり方	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査

					について考える。								
	6 小説 (二) ここに 触れる	・檸檬		2	5	・登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。 ・檸檬の描写、内的感覚をとらえ、表現を読み味わう。 ・詩的感受性・幻想性をとらえ、心理のドラマを通して美的真実について、考えを深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査	
10		・待つ			2	・登場人物の複雑な心理を読み取り、作者が何を描こうとしたのかを考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・紹介文 ・定期考査	
	7 評論 (四) 言語と 世界	・人を指す言葉— 自称詞・対称詞・他称詞			3	・日本語に関する論証の展開、結論を正しくとらえ、自称詞・対称詞・他称詞以外の人を指す言葉にも目を向けて日本語に対する興味を深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・ワークシート ・定期考査	
		・猫は後悔するか		2	4	・言葉と世界の成り立ちの関係を説く哲学的な課題を読み解き、抽象度の高い論理を理解する。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査	
		・思考と表現7 移り変わる言葉		1		・言葉の意味や使い方が時代の変遷とともに変化することを理解し、自己や周囲の言葉の使い方について考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
11	8 短歌・俳句 ことばを 味わう	・短歌 十三首			3	・短歌独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。 ・歌人個々の特色を明らかにする。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査	
		・俳句 十五句			3	・俳句独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。 ・俳人個々の特色を明らかにする。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査	
	9 評論 (五) 生命と 環境	・生物多様性の恩恵			3	・生物や自然から受けている恩恵と人間の技術とのかかわりを理解し、現代社会における問題について自分自身の考えをもつ。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
12		・地球システムの中の人間		2	2	5	・文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート

					張や内容をとらえる。特に、生態系のとらえ方について理解し、世界観、自然観などについて考えを深める。							・定期考査	
		・思考と表現8 環境を保護する工夫		1	・環境保護についての知識を深め、実際に行われている取り組みを調べる。	○	○	◎	◎	○		・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
1	10 小説 (三) 名作を 読む (三)	・舞姫		2	9	・描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考える。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査	
2		思考と表現9 近代と翻訳		1		・明治期に翻訳語として用いられるようになった言葉が、現代でも日常的に使われていることをとらえる。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・自己評価 ・相互評価	
	11 評論 (六) 時間と 歴史	・無常ということ		1	5	・文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。特に、歴史や古典に言及した筆者の態度を検討し、現代人批判について考える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	
		・日本文化の三つの時間			4	・日本文化における時間に関しての、筆者の考えを的確に理解し、ものの見方や考え方を深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査	

令和5年度 3年「古典B」シラバス《国語》

- 1、科目・単位・履修学年・区分
古典B・2単位・3年・必修
- 2、使用教科書・副教材
 - ① 高等学校 改訂版 古典B（第一学習）
 - ② 新版四訂カラー版新国語便覧（第一学習）
 - ③ 基礎から学ぶ解析古典文法〔三訂版〕（桐原）
 - ④ 基礎から学ぶ解析古典文法〔三訂版〕演習ノート（桐原）
 - ⑤ わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330 三訂版（いいずな）
 - ⑥ 精説 漢文 改訂版（いいずな）
- 3、教科目標
 - ① 古典としての古文と漢文を読む能力のより一層の充実を目指す。
 - ② 古典を学ぶことで、ものの見方や感じ方・考え方を広げ、社会や文化に対する知識や興味・関心を深める。
 - ③ 古典に親しむことによって言語文化に対する関心を深め、豊かな自己形成を図る。
- 4、授業方法・形態
一斉授業、講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。
- 5、評価方法・形態
定期考査（中間考査・期末考査・2学期実力考査）、臨時テスト、授業態度（音読・発表・発問回答）、課題提出物等を総合的に判断して行う。

6. 学習の目標・評価の観点

学習の到達目標	古典としての古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 関心・意欲・態度	b. 読む能力	c. 知識・理解
古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

7、授業計画

月	時数	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法	進度
4	1	発心集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ これまでに学習した説話とこの後に学習する説話も併せて、説話文学の多様性を確認する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
	1	今物語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 有名な和歌を含む王朝趣味の説話を読んで、和歌に関する当時の価値観について考える。 ・ 助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
	1	十訓抄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 漢文の引用を含む説話を読んで、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
	3	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・ 助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発問評価 ・ 授業態度 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
5	4	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長編物語を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・ 助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
	2	堤中納言物語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短編物語の構成や展開の工夫を理解する。 ・ 登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・ 助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
	2	俊頼髓脳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・ 歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・ 活用・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	
6	2	無名抄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・ 歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・ 助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・ 謙譲語「給ふ」について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 指名音読 ・ 学習課題集の提出 ・ 定期考査 	

	2	無名草子	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・既習の『枕草子』『源氏物語』を振り返り、古典の価値について考える。 ・呼応の副詞の知識を解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	2	藤篋冊子	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・近世の随筆の文体や内容の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・歌枕をはじめ、先行する作品を、どのように取り入れているかを理解する。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	2	おらが春	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・近世の随筆の文体や内容の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・擬態語・擬声語・比喻などを用いた、いきいきとした描写を読み味わう。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
7	3	大鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 ・「作文」と「和歌」との比較から、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	1	言語活動 『古今著聞集』との 読み比べ	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ題材を取り上げた文章を読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 	
	2	増鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	1	言語活動 貴族の呼び名—官 職と位階—	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、古典に表れる官職名や呼称に関心を持つ。 ・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や古語辞典・図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 	
9	2	蜻蛉日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	2	紫式部日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・丁寧語「侍り」について理解する。 ・漢字や漢学の素養に関する記述から、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	2	和泉式部日記	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・物語的な日記の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・和歌の贈答について理解し、恋愛感情の高まるさまを読み取る。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	1	言語活動 平安朝の結婚	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を読んで、古典に表れる貴族の結婚形態に関心を持つ。 ・大枠の課題の中から自ら課題をしばらくこんで調べる。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 	
	2	とりかへばや物語	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	10	3	しのびね物語	<ul style="list-style-type: none"> ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
	2	風姿花伝	<ul style="list-style-type: none"> ・能楽論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・能楽論に表れた考え方を、人生論に敷衍して話し合う。 ・能楽という我が国の文化に興味を抱く。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	2	玉勝間	<ul style="list-style-type: none"> ・学問的随筆を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・本文に取り上げられた賀茂真淵や兼好法師の作品や人物に興味を抱く。 ・助詞の知識を確認し、解釈にいかす。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	
	1	言語活動 『徒然草』との読み 比べ	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の対象となった文章と評論とを読み比べ、作者の考えについてまとめる。 ・調べたことを適切に文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料などを主体的に利用する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 	
11	2	去来抄	<ul style="list-style-type: none"> ・俳論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳諧に対する興味・知識を深める。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査 	

	2	西鶴諸国ばなし	<ul style="list-style-type: none"> 近世小説を読んで、大意把握の力を養う。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 近世の語彙・語法を理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 	
	2	雨月物語	<ul style="list-style-type: none"> 近世小説を読んで、大意把握の力を養う。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 近世の語彙・語法を理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 	
	2	逸話	<ul style="list-style-type: none"> 訓読をして、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 筆者が本文によって表そうと意図した内容について、正確に把握する。 疑問・感嘆・比較・二重否定・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 本文に表れている中国人のものの見方・考え方を理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 ノートの提出 課題の提出 定期考査 	
1 2	3	古代の史話	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 使役・疑問・比較・限定・二重否定・否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 歴史の中の人間について考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 課題の提出 ノートの提出 定期考査 	
	4	史記の群像	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 否定・限定・使役・疑問・反語・感嘆・假定・願望などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 歴史の中の人間について考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 課題の提出 ノートの提出 定期考査 	
	2	漢詩の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉える。 古体詩について、近体詩と比較しながら理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 假定・疑問・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 	
1	2	言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』	<ul style="list-style-type: none"> 解説を読んで、『源氏物語』『桐壺巻』と『白氏文集』『長恨歌』について関心を持つ。 課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 副教材や図書館の資料・インターネットなどを主体的に利用する。 中国文学と日本文学の関わりについて考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノートの提出 課題の提出 	
	2	明代の文章	<ul style="list-style-type: none"> 明代の文章に親しみ、その特徴を理解する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 限定・反語・二重否定・假定・疑問・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 	
	2	清代の文章	<ul style="list-style-type: none"> 清代の文章に親しみ、その特徴を理解する。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 疑問・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 	
	2	三国志の世界	<ul style="list-style-type: none"> 訓読によって話のあらすじを把握できるようにする。 登場人物の心情がどのように表現されているかを理解する。 反語・疑問・限定・假定・使役などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 漢文独特の誇張表現のおもしろさを理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 	

令和5年度 3年「国語探究」シラバス《国語》

1. 科目・単位・履修学年・区分

国語探究・3単位・3年・文型選択

2. 使用教科書・副教材

副読本：「カラー版新国語便覧」第一学習社
 「基礎から学ぶ解析古典文法三訂版」桐原書店
 「古文単語330」いっずな書店
 「精説漢文」いっずな書店
 「改訂版プログレス古文総集編発展編」いっずな書店
 「力ける漢文読解編」数研出版

3. 教科目標

国語総合の内容をさらに深化させ、基礎基本の定着と、応用力の育成を目指す。さらに、学習のまとめとして学年末に分野別テーマ学習を行うことにより、資料収集・分析方法、レポート作成、発表等、表現能力の向上も目指す。

4. 授業方法・形態

一斉授業、講義、演習を中心とする。適宜、副教材を用いながら生徒の理解力、表現力を伸ばす。

5. 評価方法・形態

定期考査、臨時テスト、授業態度（音読・発表・発問回答）、課題提出等を総合的に判断して行う。

6. 評価の観点・評価規準

- a 関心・意欲・態度 国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
- b 話す・聞く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
- c 書く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書く。
- d 読む能力 自分の考えを深めたり発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとったり読書に親しんだりする。
- e 知識・理解 理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・漢字等を理解し、身につけている。特に古典の基本的な言語事項が理解できる。

7. 授業計画

	単元	教材	学習目標	
4月		ガイダンス	・授業の進め方や評価の観点等を確認する。	1
	・評論	芸術・言語	・近代社会を論じた評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。	8
5月	・古文	説話・随筆	・古文の読み方を確認する。 ・説話の展開や内容のおもしろさを味わう。 ・主な説話文学の内容、特徴についての知識を整理する。	
	6月	・小説	現代の作家	・人間と社会の質的な変遷を主題とした評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。
・漢文		故事成語	・漢文の読み方を確認する。 ・話の展開や内容のおもしろさを味わう。 ・古代中国人のものの見方や考え方を味わう。	
7月	・評論	科学、社会	・近代社会を論じた評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。	10
	・古文	物語	・「大鏡」の構成や語られている内容についてとらえ、歴史物語の人物造形のおもしろさにふれる。 ・「源氏物語」の世界に親しみ、登場人物の心情の推移を読み取る。	

			<ul style="list-style-type: none"> ・文中の敬語表現について理解する。 ・和歌に着目しながら、登場人物の言動や心情をとらえる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・漢文 	明治・大正の作家 史記	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句 表現について理解を深める。 ・唐詩の鑑賞を通して、言語感覚や想像力を豊かにする。 ・さまざまな詩を読み味わい、好きな詩を選び、訳詞を試みる。 	9
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・評論 ・古文 	文明、環境 日記	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の構造と本質についての認識を深めるとともに、進んで評論を読む態度を養う。 ・史記を読み、歴史上の人物の行動や心情について考える。 ・登場人物の生き方を通して、人間のあり方について関心を深める。 ・漢文の基本的句法について理解し、それに即して現代語訳する。 	10
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・漢文 	詩・随想 漢詩	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開に即して作中人物の性格や心理を読み取り、人間の内面の奥深さを味わう。 ・積極的に読書を通して人生への関心を深め、自己の形成に資する態度を養う。 	10
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・評論 ・古文 	歴史、情報 和歌と俳諧	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会の質的な変遷を主題とした評論を読んで、筆者の主張とその論拠の関係を的確につかむ。 ・優れた和歌を鑑賞し、韻律や技巧について知るとともに、作者の心情を読み取る。 ・作品を繰り返し音読することによって、リズムを味わい、和歌に親しむ態度を養う。 ・歌謡に託された庶民の生活感情を理解し、独特の表現を味わう。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ・小説 ・漢文 	短歌と俳句 思想	<ul style="list-style-type: none"> ・句法や漢文に頻出する基本的な語彙に注意しながら現代語訳する。 ・儒家、道家、法家それぞれの政治論について考察する。 ・自由や民主主義的思考についての認識を深めるとともに、現実を批判的に分析する視点を把握する。 	9
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習 	【現代文分野】 【古典：古文分野】	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文全般の理解をまとめる ・古文分野の理解をまとめる 	8
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習 	【古典:漢文分野】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文分野の理解をまとめる 	6
年間授業時数				90

令和5年度 国語科「国語表現（3単位）」シラバス

- 科目・単位・履修学年・区分
国語表現・3単位・3年・文型選択
- 使用教科書・副教材等
教科書：国語表現 改訂版（大修館書店）
副教材：①小論文チャレンジノート特化型（要約編）、②小論文チャレンジノート特化型（志望理由・自己PR編）（第一学習）
- 教科目標
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深め、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
- 授業方法・形態
① 選択授業
② 教科書および副読本、新聞記事や評論教材等を適宜使い、講義形式で行う。
③ 「書く」作業や発表を中心とした表現活動に取り組む。
④ 教科書を用いながら、副教材や新聞などを取り入れ、理解力・表現力を伸ばしていく。
- 評価方法
文章表現力、言語による発表力を中心に評価し、定期考査、国語表現力小テストを適宜行い加味する。
- 評価の観点
a 関心・意欲・態度 国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。
b 話す・聞く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
c 書く能力 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。
d 知識・理解 表現と理解に役立てるための音声・表記・語句・漢字等を理解し、知識を理解している。
- 授業計画（90時間）

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点				評価方法等
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	
一 学 期	4 月	1 書いて伝える	1 整った文を書く		2	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト
			2 わかりやすい文を書く		2	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト
			3 文のつながり		2	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・小テスト
	5 月	2 小論文・レポート入門	1 小論文とは何か		3	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
			2 反論を想定して書く		4	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			3 資料を読み取って書く		6	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	○		◎	○	◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
			4 発想を広げて書く		4	・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト
	6 月	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて		2	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○			・観察 ・相互評価、自己評価
			2 効果的な自己PR		3	・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎			・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			3 将来の自分を考えよう		2	・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			◆定期テスト									
	7 月	3 自己PRと面接	3 将来の自分を考えよう		4	・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価

二 学 期	9 月	3 自己PRと面接	4 志望動機をまとめよう	3	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
		6 会話・議論・発表	1 相手や場面に応じた会話	2	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
		3 自己PRと面接	5 面接にチャレンジ	2	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方を考える。	○	◎			○	・観察 ・相互評価、自己評価
		6 会話・議論・発表	2 議論して結論を出す	3	・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
	3 プレゼンテーションの工夫		4	・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎	○		◎	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価	
	10 月	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける	3	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
			2 電話を使いこなす	2	・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
			3 ネット社会とコミュニケーション	2	・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○		◎	○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト
			4 メディアと情報	2	・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	○		○		◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト
	11 月	(第2部)	12 開廷！模擬裁判	4	・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	○	◎		◎	◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			10 演説合戦にチャレンジ	4	・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
		2 小論文・レポート入門	5 レポートを書く	4	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
	6 論文を書くために		2	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
	12 月	(第2部)	2 詩歌を楽しむ	3	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			1 言葉で遊ぶ	3	・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。	○	○	◎	○	◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	三 学 期	1 月	(第2部)	7 「私の虫類図譜」を作ろう	3	・『虫類図譜』を手本にして、想像を広げ、風刺を効かせた文章を書く。 ・イラストと文章を合わせて、魅力的な作品になるように工夫する。	○		◎	○	○
8 エッセイを書こう				3	・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	○		◎	○	○	・作品 ・相互評価、自己評価
9 パロディー物語を書こう				3	・「吾輩は猫である」のパロディー物語を読み、表現上の工夫を理解する。 ・著名な小説の表現上の特徴をまねて、パロディー物語を書く。	○		◎	◎	○	・作品 ・相互評価、自己評価
13 劇を作ろう				4	・役割を分担し、自分の役割に応じて効果的な表現になるよう工夫しながら、劇を作り上げる。	○	◎	◎	◎	○	・観察 ・相互評価、自己評価
2 月											
3 月											
				40	50						